



まつもと じゅん

# 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版

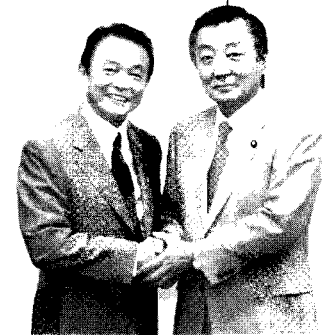
平成21年6月1日号  
発行 かながわ1区支部  
編集長 平木 茂

6月号  
2009年  
No.76

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

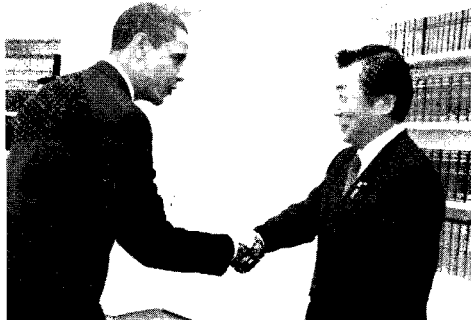
## 経済危機克服、新型インフルエンザとの戦いの最前線で 国政報告 あのか「郵政選挙」から4年

「平成17年9月の「郵政選挙」で3期目の議席を得て、間もなく4年になります。この間、首相は小泉純一郎氏から安倍晋三、福田康夫、麻生太郎の各氏にバトンタッチされ、私は総務大臣政務官、衆議院議院運営委員会理事、自民党国会対策副委員長、副幹事長、内閣官房副長官を歴任しました。



麻生総理を支えて

私のライフワークは「福祉」です。19年10月、薬害C型肝炎の被害者救済をめぐる、衆議院厚生労働委員会で質問に立ちました。「国は法的責任を認めて、ただちに被害者の救済を」。私の質問に外添要一厚労相は救済に積極的な答弁を行い、これが国・製薬会社と被害者との和解を成立させるきっかけとなりました。



オバマ米大統領と

「信頼できる社会保障制度の確立は、私の使命」。19年5月に表面化した年金記録問題の解決に向けて、党の実務者として、また官房副長官として、全力で取り組んでまいりました。また、将来にわたる社会保障の充実・強化を目指し、社会保障国民会議の最終報告とりまとめにあたりました。

麻生内閣発足からの7カ月間は経済危機への対応と積極的な麻生外交の日々でした。ワシントンとロンドンでの2回の金融サミット、サハリンでの日露首脳会談、オバマ大統領との日米首脳会談…。そのいずれの場でも「外交の麻生」と呼ばれる麻生首相が如何なく手腕を発揮できるよう首席随員として補佐してきました。また、私自身も日本の政府関係者として初めてオバマ米大統領の政権移行チームと会談するなど、様々な外交活動を積極的に行いました。

政治家にとって、地域貢献は重要な使命です。横浜は20年5月の第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）の開催地となりました。そして、横浜では来年、世界最大の国際会議であるアジア太平洋経済協力（APEC）首脳会議も開催されます。国際会議の招致成功は、地域の安心を守る国道357号本牧間門町～新磯子町の早期整備の働きかけとともに、“縁の下”で働いた私には大きな喜びです。

政府と全国の自治体は今、経済危機と新型インフルエンザとの戦いを続けています。国民の皆さんの生命と生活を守ること、つまり「危機管理」は政治の最も重要な使命の一つです。私もその最前線に立ちながら、毎日、身の引き締まる思いで仕事を続けています。



地域の皆さんと共に

※松本純の「3つの政策」を2面に掲載しています

## 今、「新しい日本型安心社会」をつくるために



私たちは今、さまざまな「不安」の中で生きています。日本経済の将来、雇用、子育て、老後、治安、食…。その背景にあるのが、世界経済の大転換や戦後の日本の安心社会を支えていたものの崩壊です。今、いちばん必要なのは、「新しい日本型安心社会」をつくることではないでしょうか。松本純は、その実現に議員生命を賭けます。

### ① すべての世代に「安心」をもたらす社会保障制度を確立します

年金、医療など社会福祉制度が揺れています。現役世代が将来に悲観的になり、多くの人が目標や連帯感を失っています。日常生活の中で広がる、そんな閉塞感を打ち破るのは、全世代・全生涯を通じた「切れ目のない安心」の実現です。



信頼できる医療・年金・介護・福祉の実現を最優先で行います  
安心の子育てや次世代を支援する政策を強力に押し進めます

### ② 「経済成長」を図り、活力と安心が両立する社会をつくります

世界的な経済危機による不況で、失業・雇用不安が拡大しています。格差・不公平感が露わになり、日本経済の将来展望が失われています。今、求められているのは、成長への布石と雇用を軸とした「安心社会」をつくることです。



環境保護・未来型産業への投資を進め雇用と所得を確保します  
人への投資を進め個人の能力発揮・自己実現をサポートします  
国民の皆様信頼を取り戻すため、政治・行政改革を断行します

### ③ 「支えあう家族」、「地域の元気」を支援します

家族や地域など、私たちに安らぎを与えてくれていた「心のよりどころ」が失われつつあります。独居高齢者や結婚できない若者が増えています。日本再生のカギを握るのは家族・地域。それを力強く支援するのは政治の責任です。



教育改革を通じて、家族の絆、地域の連帯を取り戻します  
国と地方の関係を見直し、地方分権・道州制の実現を図ります

#### まつもと じゅん プロフィール

▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ ▶野毛山幼稚園、本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師 ▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む ▶平成2年～横浜市議(3期) ▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人 ▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国づくりのため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～自民党副幹事長(以後、4期連続) ▶平成19年6月～自民党横浜市連会長 ▶平成20年9月、麻生内閣で官房副長官に任命され現在に至る

